

校長会報

令和元年度 第1号
発行所
島根県小学校長会
事務局
松江市母衣町55
県教育会館内
TEL (0852) 27-8530
FAX (0852) 67-3360

「さらなる発展のために

今 足元を見つめて



島根県小学校長会長

奥 村 忠 孝

(松江市立内中原小学校)

今年度の島根県小学校長会長に選任されました。皆様のご協力を得ながら各事業を推進し、本会をさらに活性化させることで、島根県の小学校教育の充実を図り、子供たちの健やかな成長のために努力したいと思います。

一 活動の方針

私たちの先達が築き上げてきた島根県教育は、これまで大きな成果を挙げてきました。その中でも県小学校長会の果たしてきた役割は大きく、研究と実践の積み上げや教育条件の整備に努め、小学校教育の充実・発展に大きく寄与してきたと言えます。

こうした中、子供たちが未来の創り手となるために必要な知識や力を確実に備えることでのける学校教育をめざして、新学習指導要領が告示され、「社会に開かれた教育課程」の具体化、「主体的・対話的で深い学び」の実現、各校での「カリキュラム・マネジメント」の確立などが進められています。

この時期に、「島根県小学校長会教育研究大会邑智大会」を開催するとともに、令和四年に開催される「全国連合小学校長会研究協議会島根大会」の準備を進めていくことはまさに好機であると考えたいと思います。

そこでまず、冒頭に述べた本県小学

校長会が積み上げてきた研究と実践、教育条件の整備など、これまでの取組に自信をもち、私たちの財産として確認したいと思い、それを「足元を見つめて」という言葉に込めました。また、その財産を土台として、ここ数年で醸成してきた県内の小学校長同士のつながりが力となって、各市郡におけるそれぞれの教育課題解決に向かって取組を加速し、更に深まりのあるものにしていくと考えます。これが「さらなる発展」ということです。

以上のように、今年度の研究大会を見据えて、島根の子供たちのために充実させるとともに、全連小島根大会常に前進を続ける校長会をめざして、より一層の協力をお願いします。

二 主な事業内容

- (1) 総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成して事業を推進する。
- (2) 本県小学校教育の振興と校長としての職能向上のために、邑智郡小学校長会と連携を深めながら「第六十一回島根県小学校長会教育研究大会邑智大会」を開催する。
- (3) 小・中学校長会が合同して教育条件改善対策委員会を組織し、教育条件の改善・充実に努める。
- (4) 塾教育委員会との連携を深めるため、意見交換会を実施する。

校長会が積み上げてきた研究と実践、教育条件の整備など、これまでの取組に自信をもち、私たちの財産として確認したいと思い、それを「足元を見つめて」という言葉に込めました。

また、その財産を土台として、ここ数年で醸成してきた県内の小学校長同士のつながりが力となって、各市郡におけるそれぞれの教育課題解決に向かって取組を加速し、更に深まりのあるものにしていくと考えます。これが「さらなる発展」ということです。

平成最後の年度となつた昨年を振り返る時、教育改革を巡る動きであつたり、全連小に関わる取組であつたりと、本当に様々な出来事が思い起ります。しかし、それらの中にあつて

島根県小学校長会の
さらなる発展を願いながら
前島根県小学校長会長
金山美幸

島根県小学校長会の
さらなる発展を願いながら

前島根県小学校長会長

金山美幸

き受けさせていただき、それぞれ素晴らしい提案をしていただきました。各分科会場を廻りながら、誇らしい気持ちになります。まさに、昨年度本会のスローガンであった「つながり 創り 発信する校長会」の姿が、そこにあつたからです。さて、令和元年がスタートしました。子供たちや教職員にとって、実り多い時代となることを願うとともに、校長先生方のご活躍と本会の益々の発展を心から祈念し、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

さらなる発展のために



副会長 板倉 富士夫

(出雲市立荒木小学校)

今年度、県小学校長会の副会長を務めることになりました。力不足ではあります。が、誠実に務めてまいりたいと思います。

第一回理事評議員会が終わってから、すぐ、奥村会長が出された「活動方針並びに事業計画」を読み返してみました。スローガン「さらなる発展のために今足元を見つめて」に込められた思いをしっかりと把握したからです。

第一回理事評議員会が終わってから、奥村会長が出された「活動方針並びに事業計画」を読み返してみました。スローガン「さらなる発展のために今足元を見つめて」に込められた思いをしっかりと把握したからです。



副会長 下脇 由記子

(益田市立東仙道小学校)

一員として

今年度の大重要な研修の場として、「第六十一回島根県小学校長会教育研究大会邑智大会」が開催されます。十一名の校長先生方で一生懸命準備していらっしゃる姿に感銘を受けました。会員全員で実りある大会にし、「さらなる発展」につなげていきましょう。

全ての校長がつながり合って、全県的な教育課題、各市郡の教育課題を解決し、島根の子供たちの教育を充実したものにしていくことが、会長の強い思いと受け止めました。その際、これまでの小学校長会で研究されたことを生かした日々の実践を振り返って、自信をもって推進したり、時には、改善したりして取り組むことが大切です。

そのために、副会長としてできることが、すべきことを考えてみました。

□全連小関係の会合での情報を的確

に皆さんに伝える。

□日々、率先してたくさんの校長先生方と会話し、実態を把握し、会議の場へ提供する。

□教育課題に対する解決方法を考える時、卒業された先輩校長方にもアドバイスをもらい、自分の考えをもつ。

□県校長会の活動に対しても校長先生方が感じておられることを、会長に確実に伝える。

□懇親会の時、しっかりと皆さんに酒を注いで、元気を出してもらう。

さて、「平成」が終わり、新しい「令和」の時代が始まる今年度は、新学習指導要領への移行期間最終年度であります。また、学校における働き方改革についても動き出す等、教育改革に関わる多くの課題があり、それに正対で生きる学校経営が期待されています。私たち校長の果たすべき責務の大きさを改めて感じています。

これまで、校長として日々様々な出来事に向き合っていく中で、支えてもらつたのは、市の校長会での校長同士のつながりであり、県小学校長会でありました。これからもこのつながりを基盤として、この一年を乗り切りたいと思います。そして、県小学校長会活動方針のスローガンにあるように「さらなる発展」のために、精進していくます。

最後になりましたが、奥村会長のもと、島根の子どもたちのために、常に

年度の県小学校長会研究大会益田大会を開催するにあたり、会長様、副会長様を始め、事務局の皆様にたくさんのご支援、ご協力をいただきました。その時に、皆さんの動きを見て、大変なお仕事をしておられると感心しましたが、今度はその一員である副会長の役に私ですか?と、とても身の引き締まる思いがしています。微力ではございますが、会の充実のために精一杯努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

副会長 畠山直文
(松江市立大野小学校)



よろしくお願ひします

今年度、一九七名の会員でスタートした県小学校長会。規模こそ違い、そのむだもたちがいます。副会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。微力ではありますが、会の充実・発展のために全力で取り組む所存です。どうぞよろしくお願ひします。

県校長会では事務局幹事の時から広報部に所属し、本年度は広報部の委員長として引き続き会務に携わることになりました。新任校長として入会したとき、新会員の随想を執筆したのが校長会報でした。以来、会報や校長樹林、全連小の小学校時報など様々な発行物をいただきましたが、当初は恥ずかしながら積極的に読むことはあまりありませんでした。その意識が変わつ



たのはやはり県事務局幹事として広報部業務に携わるようになつてからです。

これまで好んで読んでいたのは、今考えれば校長としてのあり方につながるお話でした。校長会報では県教委や外部の方々の随想や校長先生方の学校紹介、朝礼講話など。また小学校時報では今月のことばの小泉凡氏の「知行合一」や昨年一月号の原音監督の対談などが今でも印象に残っています。

今年度、当会活動方針のスローガンのなかにある「今 足元を見つめて」

いくためにも、日々子どもたちが笑顔で学びに向かうための学校経営をいかに進めていくか。その参考になる情報を提供していくのが広報部の大切な役割であると考えます。同時に「さらなる発展のために」、我が国の教育のめざす方向性や喫緊の課題への取組などを様々な事業の報告等から適宜お伝えしていくことも大切にしていきたいと思します。

二人の副会長とともに奥村会長を支えながら、島根の子どもたちのためにしっかりと活動していきたいと思います。会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

令和元年度 島根県小学校長会

事業計画

*島根県小学校長会 事業内容

(1) 活動の具現化、事業の推進を図るための会議の開催、関係団体の会議へ出席する。

① 理事・評議委員会(一回)、理事会(三回)、常任理事会(一回)を開催する。

② 理事会は、総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成して事業を推進する。

③ 第三回理事会の中で、県教育委員会との意見交換会を実施する。

④ 県の各審議会等に関係団体として参加し、小学校教育の立場から意見を反映させるとともにその目的達成に寄与する。

(2) 学校経営に関する諸課題を究明し、本県小学校教育の振興と校長としての職能向上のために、邑智郡小学校長会と連携を深めながら研究大会を開催する。

○第六十一回島根県小学校長会教育研究大会邑智大会

(3) 本県教育の充実を図るため、小・中学校が合同して教育条件改善対策委員会を組織し、関係機関と連携を密にしながら教育条件の改善・充実に努める。

(4) 本会の諸活動を記録し、会員の研修と連携を目的とした「校長樹林」

(年二回)「校長会報」(年三回)を発行する。また、HPを通して諸活動の広報にあたる。

(5) 教育計画や教育活動の記録等、日々の教育実践の効率化を図るため「教育記録」の編集を行い、定期的に改訂していく。

*全国連合小学校長会、中国地区小学校長会との連携

(1) 全国連合小学校長会と連携して教育課題を究明し、課題解決にあたる。

① 総会や理事会および各種委員会や担当者会に参加し、全連小との連携を推進する。

② 「小学校時報」を購読するとともに、教育研究シリーズの購読を促進し自己研鑽を深める全連小の考え方や新しい教育情報や教育改革の動向、全国の校長会の活動を迅速に伝える「全連小速報」を活用し、学校経営に生かす。

③ 全連小と連携し、陳情・要望活動・実態調査活動を行う。

④ 令和四年の「第七十五回全国連合小学校長会研究協議会島根

大会」の開催に向けた準備を全国連合小学校長会と連携しながら進め、大会運営やスケジュール等の計画を段階的に作成していく。

(2) 中国地区小学校長会と連携し教育課題を究明し、課題解決にあたる。

① 理事会・連絡協議会(一回)、理事会(二回)に参加し、連絡調整を図る。

(2) 令和四年の「第六十九回中国地区小学校長会教育研究大会島根大会」の開催に向けた準備を中国地区小学校長会と連携しながら進め、大会運営やスケジュール等の計画を段階的に作成していく。

令和元年度 島根県小学校長会 負担金基礎資料

H31.4.1 現在

市郡	基礎数	一般会計負担金	特別会計負担金	総計
	専任教員数	学校割		
松江市	33	924,000	330,000	1,254,000
安来市	17	476,000	170,000	646,000
出雲市	34	952,000	340,000	1,292,000
雲南市	15	420,000	150,000	570,000
仁多郡	10	280,000	100,000	380,000
飯石郡	4	112,000	40,000	152,000
浜田市	16	448,000	160,000	608,000
大田市	16	448,000	160,000	608,000
江津市	7	196,000	70,000	266,000
邑智郡	11	308,000	110,000	418,000
益田市	15	420,000	150,000	570,000
鹿足郡	9	252,000	90,000	342,000
隠岐郡	10	280,000	100,000	380,000
計	197	5,516,000	1,970,000	7,486,000

一般会計(学校割) 28,000円 特別会計 10,000円

※義務教育学校、小中一貫校(校長1名配置)の取り扱いについて

負担金(一般会計、特別会計、臨時会費等)は所属する籍の校長会へ納付する。

【R1年度: 3校⇒松江市: 八束学園、大田市: 北三瓶、隠岐郡: 知夫小中】

はじめまして

新任校長より

比田小ファミリーでつくる学校



井 筒 泰 世
(安来市立比田小学校)

比田は、安来市中心部から約三十五キロ離れた標高約三百メートルの盆地にあり豊かな自然に囲まれ、人と人との結びつきが強く、保護者・地域が学校教育活動に大変協力的な温かい地域です。そして、高齢化・人口減の現状に対し、「比田を愛し、行動し、誇りに思える地域に」の地域ビジョンを実現するために、地域づくりがとても活発に進められています。

子どもたちは明るく素直で何事にも前向きに取組み、私はその姿からエネルギーをもらうとともに「子どもは地域の宝である」と痛感しています。エネルギーあふれる比田の地において、比田小ファミリー(児童・教職員・保護者・地域)による学校づくりをすすめていきたいと思います。

糸賀 昭雄
(佐太小学校)

子どもも職員も地域も元気な学校づくりをめざします。

常行一直心。
創造力のある学校をめざします。

日野 久美
(檜山小学校)

あこがれる気持ちを大切にした学校づくりを目指します。

川上 諭
(斐伊小学校)

大島 悟
(末次小学校)

子ども・教職員・地域の
「よさが輝く」
学校づくりに努めます。

松岡 祐子
(稗原小学校)

「つながり」を大切に、笑顔あふれる学校づくりに努めます。

一人一人が「自分は大切にされている」と実感できる環境づくりを目指します。

上田 浩之
(遙堪小学校)

住久由樹子
(朝酌小学校)

「笑顔で登校 笑顔で下校できる学校」をめざします。

布野 光信
(国富小学校)



小脇 洋
(城北小学校)

今年は学校創立 50 周年
一歩ずつ歩みを進めたいです

浜崎 順子
(山佐小学校)

「や」わらかい頭、「ま」けない体、「さ」わやかな心を育みます。

野津 勇
(西小学校)

子どもたちと
共に「コウノトリ」
から学びます。

母校で勤務できることの喜びを感じる毎日です。



桑山
悟
(高尾小学校)

夢と誇りを胸に、
高尾と生きる
子どもを育成します。

明日もまた
行きたくなる学校！
そんな学校をつくります。



伊藤
彰彦
(掛合小学校)



飯塚
和広
(吉田小学校)

元気よし、笑顔よし、
あたり前のよし(よさ)の
吉田小学校をめざします。

三刀屋小学校は、
人を大切にします。
「平和プロジェクト」
を始めます。



阿川
俊治
(三刀屋小学校)

を進めていきたいと思
います。
ふるさとを誇りに思
い、大切にすることの大
切さを実感してい
るところです。
ふるさとを誇りに思
い、大切にすることの大
切さを実感してい
るところです。
ふるさとを誇りに思
い、大切にすることの大
切さを実感してい
るところです。

三沢小は全校児童二十人の小規模校で
す。保護者、地域はまとまりがよく、学
校に対しても大変協力的です。地域の全
戸が山城祭の保存会会員で、祭はとても
勇壮なものだそうです。(私もこれから
初参加です)子どもたちも地域の歴史と
伝統を誇りにしています。地域とのつな
がりが叫ばれていますが、三沢小に赴任
し、つながりの強さ、つながることの大
切さを実感しているところです。

なく、校長が身に着け、毎年五月末、校
区内の要害山山城祭の武者行列に子ども
達とともに参加するためのものです。(も
ちろん子どもも着ます)段ボール製の手
作りですが大変立派なものです。

三沢小学校の校長
室には甲冑が置いて
あります。飾りでは
あります。飾りでは



藤
原
稔
(奥出雲町立三沢小学校)

三沢の山城祭

秦
康人
(龜嵩小学校)

「じりつ」「きょうどう」「けいぞく」を大切に
して、子どもの学びを
実現していきます。

陶
山
昇
(朝波小学校)



加藤
道夫
(波佐小学校)

つよく正しく
伸びゆこうとする
子どもたちの力を
信じて！

笑顔あふれる学校は、
まず自分から。
心も明るくなります。



秦
康人
(龜嵩小学校)

「ふるさとの宝」
を大事にした教育
活動を開いてい
きます。



高橋
雄司
(大森小学校)

石見銀山学習を中心に
ふるさと教育に
取り組みます。

元気な笑顔に囲まれ、
新たな発見と挑戦、
感謝の毎日です。



掘江真佐邦
(北三瓶小学校)

中学校も兼務です。
頑張ります。



野津
明久
(久屋小学校)

地域に根ざした学校

須 藤 健



(大田市立鳥井小学校)

朝、学校に着くと潮の香りがしてきます。学校のすぐ横は日本海、北側校舎の窓からは青い海が広がります。また、南側に日をやれば名峰三瓶山を望む全校児童三十八名の学校です。

毎朝八時、昇降口が開くと「おはよう」の声とともに、全校児童と職員がそれぞれハイタッチしながら教室に向かいます。児童一人一人と目を合わせ、心を合わせて一日のスタートです。

着任して一ヶ月半、保護者や地域の方々にお会いするたびに学校への温かな思いを感じ、また、児童をいつも気にかけ、声をかけ、見守ってくださっていることを強く感じます。

鳥井の恵まれた教育資源を活かし、学校・家庭・地域が手を携えた教育を進めたいと強く思っています。そして、将来ある子ども達が、鳥井を愛し誇りに思い成長できるよう、教職員とともに、全力で取り組んでいきたいと思います。

小林 敏朗
(川波小学校)



郷田っ子、江津っ子の健やかな育成に努力します。



笑顔輝く、楽しい温泉津小学校をめざします。

石田 勇
(温泉津小学校)

「安全・安心」「日々の授業づくり」を大切にした学校づくりをしていきます。



岡本 真美
(桜江小学校)

佐藤 淳
(郷田小学校)

ひとりひとりが花となり、花ひらく学校づくりを目指します。



三島 伸仁
(日貫小学校)



地域と共に笑顔いっぱいの明るい学校をめざします。

「自尊感情に視点をあてる」ことが学校経営の軸です。

小寺 博喜
(阿須那小学校)

すべては、子どもたち、職員、日貫地区のために

落合 克彦
(高原小学校)



松本 徹
(桂平小学校)

子ども・地域・職員に笑顔が広がる学校をめざします。

宇野 正一
(石見東小学校)

地域・家庭と共に子どもたちが輝ける学校をめざします。



原田 尚
(戸田小学校)

「明るく、パワフルに、温かく」をモットーに頑張ります。

大石 学
(豊川小学校)

明日もまた来たくなる学校を目指します。



（六日市小学校）
澄川 弘敏

学校・家庭・地域、力を合わせて子どもたちを育てたいと思います。

子どもの「自立」をうながす学校づくりをすすめます。



（木部小学校）
大島 義紹

毎日子どもたちと遊び、元気をもらっています。
「子ども主体」がテーマです。



（七日市小学校）
岡本 博

笑顔と明るい挨拶にあふれた元気いっぱいの学校を目指します。



（中西小学校）
毛利 伸

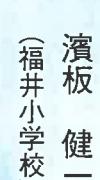
あれから一ヶ月半、たくさんの「匹見ブランド」と出会いました。片道約五十分の通勤を心地よくしてくれる澄みきつた匹見川、新緑の山並み。「明日のPTA総会、申し訳ありませんが欠席します。」と、連絡をくださる保護者の方。校門脇に高く大きなこいのぼりをそよがせてくださる地域の方。それを支える風土。

そうした「匹見ブランド」を大切にした教育実践により、あの看板に書かれていたり、「こんなにも」を自分の言葉で語らせたい、そして、「匹見ブランド」を受け継ぎ、守り、創造する、未来の担い手をチーム匹見で育みたいという思いが日に増しに募る今日この頃です。

またのは、側面の大きな看板でした。そこには、勢いのある筆文字で「匹見自然はこんなにも美しくすばらしい」と書かれています。それを見て私は、体に電気が走ったような感覚を覚えました。



（益田市立匹見小学校）
品川 智成



（福井小学校）
濱板 健一

「匹見ブランド」と出会って



（磯小学校）
元上 治

笑顔輝き、歌声響き、汗光る学校を目指して頑張ります。

ふるさとの魅力を活かした学校づくりを大切にします。



（有木小学校）
横田 康

「ないものはない」海士町で、楽しい学校づくりに挑戦します。



（隱岐の島町立五箇小学校）
林 明範

このような地域の良さを生かし、地域の「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育を中心に、豊かな体験活動を大切にした教育活動を開拓していくたいと考えています。そして、地域の方と想いや願いを共有して「地域とともににある学校づくり」を目指していきます。

五箇小学校区は、隠岐の島町の北西部に位置し、三方を山に囲まれ、北西部は海に面していて、学校の前には、のどかな田園風景が広がっています。校区内には、水若酢神社や郷土館等の文化財があり、総じて、伝統的な行事が大切にされ、歴史と自然、人の調和のある地域です。

小学校勤務は、管理職としての責務を担う緊張感と、子どもたちの元気なあいさつやたくさんの笑顔で癒やされる満足感とで、ドキドキわくわくの毎日です。

三年間の教育事務所勤務を経ての五箇

「地域とともににある学校づくり」を目指して

学校紹介

「あかるく・かしこく・なかよく」
を合言葉に育つ赤名の子

廣澤 守

(飯南町立赤名小学校)

赤名小学校のある飯南町は、島根県の中南部に位置し、周囲を山々に囲まれた高原地帯にあります。町の南部に位置する校区には、赤名地区と谷地区の二つがあります。両地区とも公民館を中心に、地域の方々には日頃から大変お世話になっています。通学路での毎朝の挨拶等の声がけ、道路の横断の見守りから、生活科・ふるさと学習やクラブ活動の地域講師の役割まで、様々な場面で赤名児童にかかわってくださっています。

一昨年度から取り組んできた体育科と特別支援教育の研究成果を昨年度の島根県教育研究大会飯石大会で発表し、参会者の皆様から高い評価をいただきました。また、県から学校体育優良学校として表彰されました。毎朝BGMをかけて柔軟体操「赤名っ子SUN」に取り組んだり、体育館で室内鉄棒やジャンピングボードなどを設置して休み時間中でも運動に親しめるようになりました。業間休みには全校で校

庭を走るチャレンジマラソンを実施し、教職員も一緒に走りました。昼休みには多くの児童が校庭に出てサッカーをして一輪車に乗ったりしてよく遊びました。



べき地教育の良さを生かして

加藤道夫

(浜田市立波佐小学校)

浜田市の南部、広島県境まで車で十分ほどのところに位置し、標高三六五メートル、中国山地の豊かな自然に恵まれた、全校児童十四名の小規模学校です。

本年度の赤名小学校には七十八名の児童が在籍しています。児童同士の仲がとても良いのも本校の特徴の一つです。全児童を縦割り班(スマイル班と呼びます)に分け、年間を通して班ごとに交流するスマイルタイムを実施しています。長い昼休みを使って、高学年がリードしてゲームなどで楽しく遊びます。なお、この班はそのまま運動会の色別班にも繋がっています。

また、図書館教育にも力を入れ、担任が司書教諭や学校司書と連携して読書指導や情報活用教育を推進していく。家庭には学期に一回家族読書を呼びかけ、親子で本に親しむ活動を実施しています。そして地域の方々には読書ボランティアとして毎月隔週で火曜日に読み語りをお願いしています。児童も、近くにある赤名保育所へ読み語りに出かけ、読書意欲を高めています。

地域の方々の温かい眼差しに見守られながら、これからも「あかるく・かしこく・なかよく」を合言葉に、赤名小の学校教育を進めていきます。



いきます。子どもたちは、こういったふるさと学習を通して、自己肯定感や肯定的な思いを持つことができます。自信を持って語ることができる「ふるさと」を持つて卒業していきます。

また、小規模校、複式学級という特長を生かし主体性を養うことに力を入れています。子どもたちは常に自分が主役という意識を持つて学習や行事等の活動に臨みます。特に複式の授業では、めあてを明確に持つて子どもどうしで自立的に学習します。また、人数の少なさを補うために一人で幾通りの経験を積むために、昔ながらの田植え体験をします。田植えでは地域の方も多く参加してくださり、全校児童で行います。保育園の園児のお囃子に合わせ、田植え綱を張り、昔ながらの田植え体験をします。米作りは年間を通して地域の方の協力をいただきながら行っています。収穫したお米は、学習や行事などでお世話になつた方やスキー教室で利用させていただくながら行つていま

す。もちろん、各家庭に持ち帰り家族で味わいます。また、稻わらは正月の注連飾り作りに使います。これも、地域の方に教えていただいています。毎年行つている活動ですから、児童は入学から卒業まで六度体験するわけです。実験的に学習を積み重ねていくことで実感をともなつた学びとなることは無がつていき、他へ転化する力を養つて

このようないい学びの積み上げが、子どもたちが進学した先で生徒会活動に積極的に取り組んだり、授業に意欲的にに考える力を養つていきます。

このようないい学びの積み上げが、子どもたちが進学した先で生徒会活動に積極的に取り組んだり、授業に意欲的に臨んだりする姿勢に繋がつてているようです。

事務局だより

事務局長 中村次郎

(松江市立母衣小学校)

今年度、事務局長を務めさせていた
だくことになりました。微力ではござ
いますが、本会の充実と発展のために
努力してまいります。会員の皆様のご
理解とご協力をよろしくお願ひ申しあ
げます。

さて、この「事務局だより」では、
本会の事業の様子を会員の皆様にお伝
えし、情報提供の場といたします。

今回は、第一回理事評議員会の様子
や、今年度の研究大会の概要等をお知
らせします。

一 第一回理事評議員会
四月二十五日(木)、サンラボーむら
くもにおいて開催し、前年度の事業報
告と役員改選、今年度の活動方針、予
算等について審議し承認されました。

奥村忠孝会長からは、「さらなる發
展のために今足元を見つめて」を
スローガンとし、活動の基盤や重点等
が打ち出されました。

午前の議事の終わりには、前年度役
員の代表としてお越しいただいた金山
美幸前会長、福島 浩前副会長へ全連
小並びに本会からの感謝状の贈呈が行
われ、奥村会長からこれまでのお二人
のご尽力に対し、感謝の気持ちを表
す挨拶がありました。また、お二人か

らは励ましのお言葉を頂戴しました。
なお、昨年度末にご退職された校長
先生方全員へ、感謝状を事務局より直
接郵送させていただきましたのでご報
告いたします。

二 島根県小・中学校長会

教育条件改善対策委員会総会

第一回委員総会が、五月九日(木)
サンラボーむらくもにおいて開催され
れ、前年度の事業報告と今年度の役員
報告、要望活動を中心とした今年度の
活動内容、予算等について審議し承認
されました。

役員は、次のとおりです。

- ・委員長 原 俊行(湖南中)
- ・副委員長 仙田 浩志(秋鹿小)
- ・副委員長 葛西 秀也(八束学園)
- ・事務局長 前田 真利(玉湯中)
- ・事務局次長 門脇 巧(玉湯小)

原委員長より、今年度の活動の基
本方針の重点として、県教育委員会
の「教職員の働き方改革プラン」の基
本方針に視点をおきながら、より重点
化・精選化した教育条件整備にかかる
要望に努めること、訴え続ける継続性
を重視するとともに、改善結果を伝え
ること、今年度実施する「市町村実態
調査」をもとに要望活動の充実を図る
ことの三点が示されました。

四 全国連合小学校長会研究協議会 秋田大会

十月十七日(木)・十八日(金)の両日、
秋田市にて開催されます。本大会では、
本県からの発表はありません。本県か
らは二十二名が参加する予定です。

- ①第二回理事会
六月二十一日(金)
- ②第一回常任理事会
七月二十三日(火)

③第三回理事会・県教委との懇談会 八月二十一日(水)・二十二日(木)

編集後記

子どもたちの姿が、輝く緑に映える季
節。奥村新会長のもと、四十五名の新任
校長(再入会を除く)をお迎えし、令和
元年度の島根県小学校長会が始まりまし
た。広報部も、会員同士のつながりの場、情報交換の場等となるよう努めてい
きたいと思います。

第一号を発行するにあたり、ご多用の
中、お世話くださいました理事の皆様、
ご寄稿くださった皆様に心より感謝申し
あげます。

(松本)

されました。本県からは、奥村会長・
下脇副会長・畠山副会長、事務局長の
四名が出席しました。

総会では、浮島智子文部科学副大臣
が祝辞で、来年にせまつた新学習指導
要領実施に向けての準備と働き方改革
の実効性のある取組の必要性とともに
全国の校長や全連小が考える現場に即
した改善案を文部科学省に伝えて欲し
いと述べられました。

研修会では、文部科学省初等中等教
育局より、「当面する初等教育の諸問
題」について講義があり、特に学校に
おける働き方改革、外国語教育のポイ
ント等について説明がありました。教
育の質の向上と働き方改革の両立への
強い意欲が感じられました。

また閉会式では秋田県代表より、十
月開催予定の秋田大会参加に対する厚
い参加要請がありました。

十月四日(金)、悠邑ふるごと会館、
すこやかセンターを会場に開催されま
す。邑智郡小学校長会の皆様には、平
成二十九年度から開催計画立案、準備
等を精力的に進めさせていただいていると
ころです。また、出雲市、仁多郡、浜
田市には、提案発表でお世話になります。

た、仁多郡、浜田市には、提案発表で
お世話になります。

六 島根県小学校長会教育研究大会 邑智大会

令和元年度 島根県小学校長会 役員表

役名	校長名	勤務校	役名	校長名	勤務校
会長	奥村忠孝	内中原		奥村忠孝	内中原
副会長	板倉富士夫	荒木	全連小理事	板倉富士夫	荒木
	下脇由記子	東仙道		下脇由記子	東仙道
	畠山直文	大野	全連小代議員	畠山直文	大野
監事	森下勇	南		畠山直文	大野
	松岡裕二	平田	中国地区理事	中村次郎	母衣

理事

市郡名	会員数 (学校名)	理事名	評議員名	対策委員名
松江	33	常 山 根 毅(恵 曼)	宮崎 次光(出雲郷) 山崎 幸春(生馬)	福島 稔夫(宍道)
安来	17	宍 客 野 智(赤江)	森 下 勇(南)	秦 美 紗 江(能義)
出雲	34	原 一 夫(西野)	松岡 裕二(平田) 杉谷 学(塩治)	内藤 満久(神西)
雲南	15	坂 田 英 則(加茂)	天 野 繁 美(海潮)	本 間 博(西日登)
仁多	10	常 川 田 勝 巳(横田)	原 元 宏(布勢)	飯 塚 積(阿井)
飯石	4	古 川 善 正(志々)		宍 廣 澤 守(赤名)
浜田	16	常 鳥 居 正 嗣(原井)	濱崎 政寿(長浜)	佐々木 伸(雲城)
大田	16	原 田 奈保子(仁摩)	笠 井 修(長久)	宍 松 原 洋 司(五十猛)
江津	7	安 食 徹(江津東)	石 橋 邦 彦(高角)	宍 (堀 康弘)(江津中)
邑智	11	松 川 成 治(矢上)	堀 尾 亮 介(邑智)	小 寺 博 喜(阿須那)
益田	15	領 家 芳 明(吉田)	村 上 護(吉田南)	渋 谷 秀 文(西益田)
鹿足	9	常 富 田 誠 一(日原)	寺 戸 和 泉(柿木)	松 元 善 生(蔵木)
隱岐	10	常 斎 藤 毅 一(北)	福 本 美由紀(西ノ島)	宍 斎 藤 尚 文(都万)

(会員数 197)

⑧印 常任委員会 理事

⑨印 教育条件改善対策委員会 理事

⑩印 小・中代表

事務局幹事

校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX	校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX
熱田哲也	持田	調査研究	690-0814 松江市東持田町81	21-3987 FAX 21-9659	仙田浩志	秋鹿	対策	690-0262 松江市岡本町992-1	88-2007 FAX 88-3156
門脇巧	玉湯	対策	699-0201 松江市玉湯町玉造4	62-0350 FAX 62-0746	遠山茂樹	島根	調査研究	690-0401 松江市鳥根町加賀1325-1	85-2018 FAX 85-2134
松本真理	雜賀	広報	690-0056 松江市雜賀町586	21-2805 FAX 21-2821	松尾 隆	美保関	広報	690-1313 松江市美保關町下字部尾555-1	72-9200 FAX 72-2844
梶田勝造	大庭	対策	690-0033 松江市大庭町1074	21-4239 FAX 21-4311	中村次郎	母衣	総務・ 事務局長	690-0883 松江市北田町273	21-2128 FAX 21-3161
米田靖幸	古江	調査研究	690-0151 松江市古曾志町1759	36-8752 FAX 36-6114	建岡浩子	事務局	事務局員	690-0886 松江市母衣町55 島根県教育会館内	27-8530 FAX 67-3360